

先輩職員の声

エコ・ポート長谷山

片岡 亮

(平成 26 年度行政事務職採用)

啓発活動は結果が見えにくいものですが、皆で試行錯誤しながらよりよい内容になるよう頑張っています



Q1 当組合に入る前は何をしていましたか

父親が歴史好きで、自宅の本棚に司馬遼太郎などの歴史小説が並んでおり、中学生のころから手に取るようになりました。歴史を学びたいと考えるようになり、大学では史学科国史学を専攻。江戸時代の庶民文化について学び、大学院まで研究を続けました。就職は事務職を希望し、大学で就職募集を見ていたところ、当組合の求人を目にしました。公務員に興味があった訳ではなかったのですが、環境行政という言葉に興味をひかれ調べてみると、エコ・ポート長谷山の工房で環境啓発事業を行っていることを知りました。「何かについて深く学び、それ

をまた他の人に伝える」これは研究にも啓発活動にも言えることで、そういった点にやりがいや可能性を感じ、試験を受けてみました。

Q2 仕事について

エコ・ポート長谷山工房係に配属され、工房運営業務や施設見学者の案内等を行っています。事務職は人との触れ合いが少ないイメージですが、私の職場は来館者対応はもちろん、住民のボランティアスタッフさんと相談しながら工房の内容を深めるため、コミュニケーションがとても大切です。そのため誰かと話す際は、その人の意見を最後まで聞くよう気をつけています。また、毎年4月～6月に管内47小学校から4年生が社会見学に来てくれますが、子どもたちは話を熱心に聞いてくれるので、とてもやりがいを感じます。社会見学後、夏休み工作を作りに来てくれたり、小学校に出前講座に行くと「あの時の人や」と言ってくれたりすることもあり、エコ・ポート長谷山のことを覚えてくれたのだなと嬉しくなります。

Q3 職場について

配属された職場は自分を含め7名の職員がいます。人が少なく色々な事をする必要がありますが、先輩方に教わりながら、楽しく働いています。啓発活動は結果が見えにくいですが、皆で試行錯誤しながらよりよい内容になるよう頑張っています。

Q4 城南衛生管理組合を受験される方へ

学生時代に学んだこととは直接関係のない職場でしたが、日々様々な事を学べるので、やりがいを感じています。皆さんと一緒に仕事ができる日を楽しみにしています。

Q1 当組合に入る前は何をしていましたか

幼いころから微生物や野生動物、またその生き物たちが暮らす環境に興味があり、大学は理学部生物学科へ進みました。生物化学や動植物の生態など幅広く学び、卒業時には酵素化学研究室でさまざまな環境での酵素の働きの変化について研究しました。卒業後は部品メーカーに就職しましたが、自身の興味に関連する業種で、より多くの人と関われる仕事につきたいという思いが強くなり、様々な業種の就職情報を見ていたところ、当組合の採用試験を知りました。環境は、生き物について学ぶと必ず関連して出てくるため、その重要性は繰り返し感じており、関心を寄せていた分野でした。そんな人間にとっても欠かすことのできない環境に特化した行政組織があることを知り、ぜひ働きたいと思い応募しました。

Q2 仕事について

し尿の汲み取りを管理する業務課で、予算管理などの庶務業務と、臨時汲み取りの受付を担当しています。業務課は住民の方と関わることの多い部署で、住民の方のご要望と当組合の事務の流れを調整する必要があります。公務員ですからどなたにも平等に接する必要がある一方で、「お役所仕事」にならないよう実態に沿ったサービスの提供も心掛けています。ご要望に沿えない場合でも説明の仕方を考えるなど、日々工夫できることは多くあり、その結果として住民の方からおほめの言葉を頂いた時、やりがいを感じます。条例や規則に沿って事務を進めるなど、行政の仕事に最初は戸惑いましたが、上司や先輩がフォローしてくれるので、安心して楽しく働いています。

Q3 職場について

相談事があっても、上司や先輩が親身になって話を聞いてくれるので、この職場に入って良かったと思います。また私自身は技術的なことにも興味があるので、工場運営に関する仕事にも関わ



る可能性があるのも魅力です。男性の多い職場ですが、女性職員にとってより働きやすい職場となるよう取り組んでいる姿勢も感じますし、良い職場に出会えたと考えています。

Q4 城南衛生管理組合を受験される方へ

事務職と言っても当組合の業務内容は多岐にわたるため、様々な知識が必要ですが、それを一から学ぶ楽しさも沢山あります。フレッシュな後輩の皆さんと一緒に仕事ができるのを楽しみにしています。

業務課

石井 麻衣子

(平成 26 年度行政事務職採用)

日々工夫できることは多くあり、その結果として住民の方からおほめの言葉を頂いた時、やりがいを感じます